

「年金加入期間等報告書」の記入について

公立学校共済組合山梨支部

1. 必ず記入していただく箇所

- 職員番号 ●任用形態及び任用期間（正規採用以外の者のみ）
- 組合員氏名・ふりがな ●生年月日 ●所属機関名
- 基礎年金番号 ●年金加入期間（年金に加入していた期間すべて）
- 署名欄（記載した日・住所・氏名）

2. 該当ある場合のみ記入していただく箇所

- 年金未加入期間（20歳以降の期間のうち年金に加入していない期間がある場合のみ）
- 離婚時みなし被保険者期間 ●被扶養配偶者みなし被保険者期間

3. 記入のポイント 別紙【記入例】を参照してください。

☆公立学校共済組合山梨支部に提出したことがある方は、前回の山梨支部の資格喪失日以降について、お書きください。

☆20歳のときに学生などの場合、年金加入期間の1行目の「資格取得日」は、20歳の誕生日の前日。→(A)

例)平成5年4月5日生まれの人は→「資格取得日」平成25年4月4日。

納付特例による免除を申請した場合は、備考欄にその旨記入。→(B)

※20歳のときにすでに勤務先等で厚生年金等に加入していた場合は、上記によらず、実際の加入状況（年金制度名、資格取得日、喪失日、勤務先）を記入。

☆20歳以降の期間は、加入・未加入どちらか必ず（重複や空白の期間が無いように）記入。

・この報告書を記載した日以降の加入状況については、記載日時点での予定を記入。→(C)

・最終行は「エ厚年（地共済） 取得日・令和〇年〇月〇日 勤務先・山梨県教育委員会」など予定を記入。→(D)（資格取得日欄は採用予定日を記入）

・年金に加入しなかった期間がある場合は、「未加入期間」欄に記入。→(E)

但し、未加入期間の保険料をあとから納付している場合は、「加入期間」へ記入。

☆「資格喪失日」は退職の翌日の日付を記入。（次に続く期間の資格取得日と同じ日付）

→(F)

☆勤務先欄は、勤務先名を必ず記入。勤務していない場合も「学生」「無職」「被扶養配偶者」等記入。→(G)

☆署名欄の日付は、この報告書を書いた日。→(H)

☆住所、氏名は、記載日時点の内容を記入。→(I)

☆報告書が2枚以上になった場合、署名欄は最後のページのみ記入。

4. 誤記入等の修正方法

☆書き損じ部分を二重線で消して、余白に正しく記入。訂正印は不要。

☆原則、日付の古い順に記入していく。途中、加入期間の記入が漏れた場合は、最終行に書き足す。（もれなく記入されていることが重要なので、日付が前後しても構わない。）